

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	色彩設計小委員会		主 査 名：山本 早里 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)		委員長名：秋元 孝之 主 査 名：原 直也
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築の色彩設計を進めるために活用できる研究・情報を収集、整理する、自治体・実務者との情報交換を推進する。広く建築色彩の重要性を周知するための方法を検討する。 初年度：建築の色彩に関する研究・事例の収集、整理 2 年度：景観色彩に関するシンポジウムの開催 3 年度：建築の色彩設計法の検討 4 年度：建築の色彩教育に関するシンポジウムの開催		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 主査：山本早里 (筑波大学) 幹事：土屋潤 (九州大学) 委員：池田圭介 (パナソニック)、石田泰一郎 (京都大学)、井上容子 (放送大学)、北村薫子 (武庫川女子大学)、神農悠聖 (大手前大学)、佐藤仁人 (京都府立大学)、杉山朗子 (日本カラーデザイン研究所)、高山美幸 (エスケー化研)、名取和幸 (日本色彩研究所)、原直也 (関西大学)、榎究 (実践女子大学)、三宅奈美 (佐藤総合計画)、宮本雅子 (滋賀県立大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	景観色彩WG：景観の向上を目指し、景観色彩誘導に関連する知見を整理しつつ、景観の色彩設計教育の在り方について討議し、提言をまとめる。 色彩設計法WG：建築の色彩設計法に関する資料を収集し整理する。 夜間景観WG：夜間景観に関わる研究・情報の収集・整理を行う。		
2022 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	1. シンポジウム「景観色彩と行政を考える ——行政の実態調査・色彩計画の現場・行政の立場から」 参加者数 82 名 資料名：同上
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 景観色彩に関するシンポジウムを開催することができた。 2. 色彩設計に関する事例を収集することができた。 3. 夜間景観に関する情報収集を行うことができた。
委員会活動の問題点・課題	特になし

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2022 年度 小委員会活動 自己評価

(~~中間年度評価~~・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>計画通り、初年度に行政に対するアンケート調査を行い、中間年度にこれに関するシンポジウムを行うことができた。シンポジウムでは申込者 82 名、そのうち参加者 74 名であり、多数の自治体関係者に参加いただけたので、達成度は高いと考えられる。</p> <p>第三者的評価・外部評価として、シンポジウムの参加者からの自由意見として、次のような意見を頂いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政側と設計者側での景観に対する各制度と基準に対する考え方の違いを認識することができた ・自治体ごとに特色ある景観計画と実例も交えた内容が参考になった ・各自治体で意識される共通の課題がある一方、地域特性や景観要素が異なるためこの場で共有する意義は大きい <p>また、各 WG の活動も活発であり、A 評価に値すると考えられる。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。